令和４年度　取組報告　　**富雄南中学校区地域教育協議会**

めざす子ども像 **・学びを大切にする園児児童生徒　・仲間を大切にする園児児童生徒**
・命を大切にする園児児童生徒

取 組 目 標 **豊かな心を育み、地域を大切にし、たくましく生きる力を持った子どもの育成をめざす。**
学校支援活動の促進と地域全体で展開する「美しく、安全・安心な繋がる地域づくり」。

【今年度の取組紹介】

・子どもに豊かな心と生きる力のもととなる確かな学力を育むために、地域の人材を活用し、読み聞かせ活動や体験学習、就学前から英語になじむ取組を行いました。

・地域で安全見守り活動の取組を行い、いろいろな問題点も見えてきました。

・各校園一斉「花いっぱい運動」の展開を秋と春に向け２回実施。

・大学生参画事業の取組を活用し、身近なお兄さんお姉さんと一緒に児童・生徒がアイデアを出し合い「とみにゃんフェスタ」を企画立案から当日運営まで行いました。

・中学生、小学生のボランティア活動（とみにゃんクラブ・とみにゃん kids）は、とみにゃんクラブでは地域のボランティアさんと一緒にプログラミングを小学生に指導しました。

とみにゃん kids は地元の花苗屋さんで買い付けから値付け販売までを行いうキャリア教育の取組をすることが出来ました。自ら考え行動する力や、異年齢との繋がり、地域の方との交流を行えました。

【今年度のまとめ】

コロナ禍で思うように計画を進めることが出来なかった部分も多かったのですが、３年ぶりに開催した new フェスタ「とみにゃんフェスタ」は予想以上の取組となりました。

目指す子ども像の「学びを大切に・仲間を大切に・命を大切に」は十分な成果を出せたと思います。また自ら考え、行動するという点でもここで今何をするべきかを考えて行動している場面を多くみることができたと思います。

【来年度に向けて】

コーディネーター不足や、次世代の担い手の育成が大きな課題となりますが、今年度の卒業生たちが学生ボランティアとして活躍してくれました。次年度はこの輪をもっともっと広げられるように広報活動を行い、地域に愛着を持ってもらえる人材の育成を行いたいと考えます。

令和４年度　取組報告　　富雄南中学校運営委員会

めざす子ども像　**学びを大切にする園児児童生徒**
仲間を大切にする園児児童生徒
命を大切にする園児児童生徒

取 組 目 標　**子どもたちが地域とのつながりを意識し、地域理解や貢献に努め、主に学習環境整備･取組を充実する。**

【今年度の取組紹介】

○　環境整備・栽培事業では、10 月に地域の方や PTA の皆様で合同清掃を行いました。朝早くから地域の方を中心に木々の伐採や剪定を行っていただき、美しい学校環境が整いました。今年度も多くの支援をいただき、地域の「花いっぱい運動」と生徒会活動、「とみにゃんクラブ」の活動を行いました。引き続き、温もりのある美しい学習環境づくりを進めることができています。

○　12 月に地域教育協議会主催で「とみにゃんフェスタ」を行い、参加した子どもたちから多くの笑顔が見られました。ここ数年、新型コロナウイルス感染症の影響で地域連携や交流する機会がほとんどありませんでしたが､久々に地域が一体となって開催されたフェスタは､多くの方々の交流の場となり、地域の活性化につながることができました。また、生徒が地域の方々との打ち合わせや当日のボランティア活動を自主的に行い、生涯にわたって必要な多くの経験ができたと思います。

【今年度のまとめ】

本中学校区では、地域行事や地域教育協議会主催の行事への協働体制が定着しておりました。しかし、今年度も新型コロナウイルス感染症により、学校行事の中止や制限により、学校活動を積極的に関わってくださる地域の方々との交流や協働の場がなくなってしまいました。無念さは残りますが、地域と学校が工夫しながら、今できることを考え、精一杯取り組みました。また、中学校区のマスコットキャラクター「とみにゃん」に続き、本校生徒が考案した校区の安全を見守る新キャラクター「とみわん」が加わり、地域と学校が今まで同様に安全に対する意識を高めました。本事業による人的・物的支援により、本校のめざす「美しい学校づくり」を充実させ、推進しました。

【来年度に向けて】

新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、地域とともに子どもたちを育成する視点に立ち、本中学校区のフェスタを開催するなど、キャラクターを活かした広報活動を積極的に行います。また、これまで以上に学校と地域が連携し、子どもたちの「学び」「仲間」「命」を大切にする力を伸ばし、主体的に行動できるように工夫しながら、育てていきたいと考えています。

めざす子ども像

学びを大切にする園児児童生徒
仲間を大切にする園児児童生徒
命を大切にする園児児童生徒

取組目標

- **読書に親しみ、豊かな心と言語力を育てる。**
- **地域の方々とのふれあいを通して、コミュニケーション能力を高める。**

【今年度の取組紹介】

今年度も「人とふれあい　地域とつながる」をコンセプトに計画しました。また、制約がある中で、「実施できること」や、「実施できる方法」、そして「今後も持続可能な事業としての在り方」を模索しました。「チャレンジタイム事業」等の体験学習、「ファンタジータイム事業」の読書活動の推進、「環境整備事業」の教育環境を充実させる活動は、コロナ感染予防に留意しながら行うことができました。学校生活においてコミュニケーション活動の制限があり、リモートによる学習をせざるを得ない中、「リアルに本物を体験できること」、「子どもたちの学びの教育条件を整える環境整備」は、今の本校児童にとって大変貴重なことだと思います。それを地域の方々と共に実施できたことは、大変意義あることでありました。

ファンタジータイム事業　チャレンジ事業　環境整備事業

ファンタジータイム事業として、本の読み聞かせ、図書館司書さんと協働して、図書室の整備を行いました。また、チャレンジタイム事業（地域学習、福祉体験学習）、環境整備事業（花の植え付け）などを地域の方々の協力の下、実施することができました。

５年地域学習　赤膚焼体験

【今年度のまとめ】

社会全体に新型コロナウイルス感染症の影響があり続ける中、どのように活動を実施すればよいか、どのような活動が実施可能かを、地域コーディネーターとともに思案しました。中止とせざるを得ない事業もありましたが、内容・参加する人数などを工夫して環境整備事業を充実させたりできました。どの取組でも、子どもたちからは、「すごく楽しかった。」「地域の方に教えてもらって良く分かった。」「図書館がきれいになってうれしい。」等の声がきかれました。児童に自分が住む地域への関心を深め、地域の中で生きているという意識を持たせることができたと感じます。特に本校の卒業生である地域の方々が、活動の合間に語られる学校での思い出が子ども達には心に響いたようです。また、地域の方々が学習活動に参加していただくことで、本校教育への理解を深めていただくことにもつながったと感じました。

【来年度に向けて】

あたえられた環境の中で、持続可能な事業の在り方を模索しながら、活動内容を深化発展させていきたいと思います。そして、地域・保護者・学校・行政が協働して教育目標の達成に向かって進めていきたいと思います。

令和４年度　取組報告　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　**三碓小学校運営委員会**

目指す子ども像

・学びを大切にする園児・児童・生徒
・仲間を大切にする園児・児童・生徒
・命を大切にする園児・児童・生徒

取　組　目　標

◎体験　発見　創造ひろがる　「三碓学習」

歴史ある「みつがらす」地域とのつながりを大切にした学習環境の整備に取り組み、

子どもたちが「みつがらす」に愛着と誇りを感じることのできる取組にする。

【今年度の取組紹介】

今年度もコロナ禍の中スタートすることになりました。そんな中でも「三碓の町たんけん」「いのちの学習」「三碓（なら）の祭り」「むかしあそび」「伝統文化～書道」「人権と平和」など各学年で、テーマに基づき、できる形で行おうと考えました。しかし、感染拡大が頻繁に繰り返され地域との交流を含む学習活動が大きく制限されました。

そのような中でも、豊かな感性や情操を育む事業として、１年を通しての「図書ボランティア」によるより使いやすい図書室への改装と「校内緑化」及び「校内環境整備」事業を進めました。また、本年度は急遽プール学習を行うことが決定しました。感染対策を講じながら行う必要があり、監視する教員を配置することが難しい状況だったため、地域から大学生の人材を紹介いただき、指導支援をしてもらうことができました。引き続き行っている３年生の習字や、低学年の昔遊び、６年生の平和学習など、これらの学びをきっかけとして、三碓に愛着をもつ児童の育成に向けた活動となっています。

【今年度のまとめ】

「学び」「仲間」「いのち」を大切にする感性豊かな子どもを育成することは、本校保護者をはじめ地域の方々の強い願いです。今年度は、コロナ禍で例年通りに行えなかった分、どうすればよいか改めて考える良いきっかけにもなりました。地域を愛する方々とともに実体験をした児童は、「みつがらす」という郷土とともにそこに暮らす人々を愛し、誇りをもつことができました。

ボランティアの方々と進めてきた「校内緑化・環境整備事業」が根付き、今年度は地域の力をお借りすることがあまりできませんでしたが、子どもたちが自ら企画・作業を行い、新しく田畑や花壇・寄せ植えを作り、育てました。子どもたちが「主体的に考える」取組を行うことができました。

【来年度に向けて】

実体験ができる「環境」と「人」の提供を目指して取り組んでいますが、来年度も今年のように人との接触が制限されるようであれば、ICT の活用も視野に入れて検討していこうと考えています。また、校内緑化・整備事業や地域と学ぶ三碓学習などは継続的に推進し、「学び」「仲間」「いのち」を大切にできる児童の育成に努めていきます。地域の方々と連携し進めていきたいと考えています。

令和４年度　取組報告　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　**富雄南こども園運営委員会**

めざす子ども像　**・学びを大切にする園児児童生徒**
・仲間を大切にする園児児童生徒
・命を大切にする園児児童生徒

取 組 目 標　**ぐんぐん　伸びよう　笑顔　いっぱいタイム**

【今年度の取組紹介】

地域の方とのふれあい事業“サッカー教室”

サッカー教室では、コーチや友達と触れ合って遊ぶ楽しさを感じながら、ボールに片足を置いてバランスをとったり、友達とタイミングを合わせてボールをパスしたりと、ボールに少しずつ慣れていきました。
回数を重ねていくと、試合をする中で「次は負けないぞ。」「さっきのシュートすごかったね。」と、友達と協力し合って取り組む姿が見られました。また、簡単なルールを守りながら遊ぶ楽しさを感じ、体を動かす心地よさを教えていただくとともに、サッカーを通して「何事にも粘り強く取り組む力」を育むことができました。

地域の方とのふれあい事業“みんなであそぼう”

元気でパワフルな講師を招き、年に３回運動遊びを思いきり楽しみました。片足を上げてバランスをとったり、一本の線の上をはずれないように歩いたり、いろいろな動物の真似をすることで、体幹を鍛えるコアトレーニングも遊びの中に取り入れていただき、活動しました。
子ども達は“みんなであそぼう”の時間が大好きで、教えていただいたことをずっと覚えており、保育室でも繰り返し楽しむ姿が見られました。取組を掲示して知らせることで、保護者や地域の方が「昨日、家でしていたのはこれだったんですね」「こんなことをできるようになったんだね」と、園での活動と家庭の様子の共有に繋がりました。

【今年度のまとめ】

友達と一緒に、いろいろな方と関わりながら活動する楽しさを味わい、自らやってみたいと積極的に活動することで、主体的に取り組む姿が見られました。また“キッズイングリッシュ”や栽培活動、“木工でネームプレートづくり体験”等もさせていただきました。これまで積み上げてきた取組を継続して行いながら、新しい取組も計画し、充実させてきたことで、子ども達の興味や関心がさらに高まり、子ども達の豊かな学びになりました。

【来年度に向けて】

地域や保護者の方の協力をいただきながら、様々な人との関わりを大切にして事業を継続し、友達と一緒に多様な体験を積み重ねていきたいです。その中で、地域の方との繋がりを広げていけるように、取り組み方を工夫していきたいです。

令和４年度　取組報告　　　　　　　　　　　　　　　　　　**学園南こども園運営委員会**

めざす子ども像　**学びを大切にする園児児童生徒**

仲間を大切にする園児児童生徒

命を大切にする園児児童生徒

取組目標　**人や自然との豊かなふれあいができる環境を整え、地域とのつながりを感じられる取組を行っていく**

【今年度の取組紹介】

・今年度は、読み聞かせ事業として、初めて地域の読み聞かせサークル「泉のたまご」さんに来ていただき、おはなしの会を開催しました。人形を使ってのおはなしや紙芝居、絵本などを音楽や声色を使いながら楽しく子ども達に話してもらいました。子ども達は目をキラキラさせ、一緒にセリフを言ったりしながら聞いていました。「おもしろかった！」「また来てね」など楽しい時間になったようです。

　また、山本三歌代先生を招いての初めての運動遊び教室も開催しました。いろいろな動きを通して体幹を鍛える運動や縄跳び、フープなどを使っての体の動かし方などを楽しみながら教えていただきました。子ども達は体を動かす心地よさや楽しさ、そして大変さなど身をもって感じていたようです。終わった後は「お腹すいた～」「もっとしたい！」などの声が聞かれました。その後も音楽に合わせて体を動かしたり、いろいろな運動用具をつかって積極的に楽しんだりする姿が見られました。

【今年度のまとめ】

　地域の方との交流をしながら、子ども達はいろいろな活動に楽しく参加しました。野菜栽培活動を通して野菜などに触れあったりしながら、食への興味や関心を深めたり、味わうことの嬉しさや食べる意欲などが出でてきたように感じました。また運動遊び事業では、運動遊びを通して、身体を動かす心地よさなどを感じ、自ら体を動かすことを楽しむ姿につながりました。

読み聞かせ事業では、おはなしを聞く楽しさ、いろいろな絵本に触れること、絵本を見る面白さなどを感じてくれていました。環境整備事業では、いろいろな季節の植物を植え、育てる楽しさや自然に興味を持ったり、身の回りを綺麗にする心地よさなどを感じたりすることができました。

【来年度に向けて】

　地域の中にあるこども園として、子ども達が地域のことを知り、地域の方々の力を借りながら、子ども達の成長をともに見守っていけるような交流が図れる事業になってと思っています。また学園南こども園での取組を地域の方々に知って頂けるよう広報活動などのほか、地域の行事などにも積極的に参加し、園の保育・教育内容を発信し、子ども達の育ちに共に関わってもらえたらと思います。